

自治会・町内会運営状況等 アンケート結果

2020年3月

明石市市民生活局市民協働推進室
コミュニティ・生涯学習課

目 次

1. 調査の目的	1
2. 調査概要	1
3. 回答団体の属性等	
(1) 小学校区別回答率	1
(2) 加入世帯数の状況	2
4. 調査結果	
(1) 年間の自治会費	2
(2) 自治会長の選出方法	3
(3) 自治会長の再任に関する規定の有無	3
(4) 担当役員の有無	3
(5) 役員への報償費の有無	3
(6) 自治会長の任期に関する規定の有無及び、定年年数・年齢	4
(7) 自治会加入率	5
(8) 自治会長経験年数	5
(9) 会議の開催状況	5
(10) 自治会単独で実施している取組み	6
(11) 自治会員への広報活動	6
(12) 加入促進の取組み	7
(13) 他団体との連携	7
(14) 民生委員・児童委員との連携	8
(15) 避難行動要支援者名簿の活用	8
(16) 明石市の「小学校区単位のまちづくり」	9
(17) 校区まちづくり組織との関わり	9
(18) 校区まちづくり組織へ望むこと	10
(19) 自治会等で特に抱えている問題・課題	11
(20) 自治会長として担う役割と費やす時間	15
(21) 自治会長として負担に思うこと	16
(22) 自治会長をして良かったと感じること	17

1. 調査の目的

自治会・町内会（以下、「自治会等」という）の活動内容など、自治会・町内会の実態を把握することを目的とする。

2. 調査概要

調査対象…明石市内の自治会等 477 団体

調査期間…2020 年(令和 2 年)1 月 10 日～2020 年(令和 2 年)1 月 31 日

調査方法…郵送調査（調査票郵送・回収、調査対象者自記入）

調査内容…自治会等の活動内容や課題、自治会長業務の実態等

回収率 …調査票回収数：374 票／有効回収率：78.41%

3. 回答団体の属性等

(1) 小学校区別回答率

校区	校区自治会等数	回答自治会等数	回答率
松が丘	16	11	68.75%
朝霧	11	10	90.91%
人丸	31	20	64.52%
中崎	17	13	76.47%
明石	19	14	73.68%
大観	25	20	80.00%
王子	19	13	68.42%
林	33	29	87.88%
貴崎	9	9	100.00%
花園	9	7	77.78%
藤江	20	16	80.00%
和坂	9	8	88.89%
鳥羽	6	6	100.00%
沢池	13	10	76.92%
大久保	16	15	93.75%
大久保南	21	14	66.67%
山手	19	10	52.63%
谷八木	9	8	88.89%
江井島	23	17	73.91%
高丘	17	12	70.59%
高丘西	24	21	87.50%
錦浦	20	16	80.00%
清水	23	20	86.96%
魚住	17	10	58.82%
錦が丘	12	11	91.67%
二見北	14	13	92.86%
二見	13	9	69.23%
二見西	12	12	100.00%
総計	477	374	78.41%

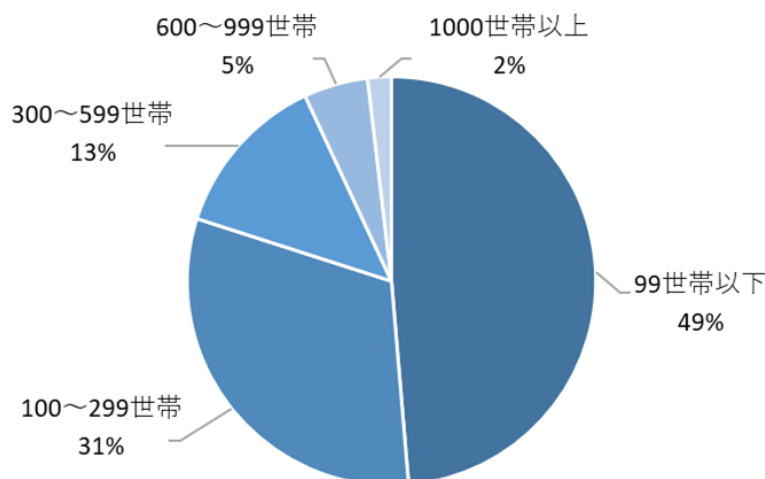
(2) 加入世帯数の状況 (n=374)

99 世帯以下	182
100～299 世帯	117
300～599 世帯	49
600～999 世帯	19
1000 世帯以上	7
総計	374

100 世帯未満の自治会等が全体の 5 割を占める。

市内で最小世帯数は 4 世帯、最大世帯数は 2,141 世帯となっている。

(2020 年 3 月時点)



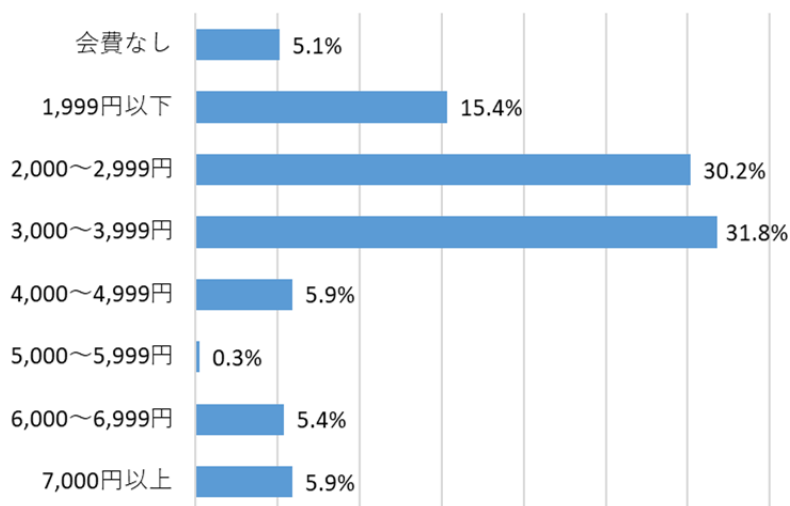
4. 回答団体の属性等

—自治会等の基礎情報について—

(1) 1 年間の自治会費 (n=371) ※不明、無回答除く

2,000～3,999 円が全体の約 6 割を占める。中でも多かった回答は、「2,400 円」「3,600 円」であった。また、世帯状況（一人暮らし）や戸建てかマンションかなどの居住形態で会費を分けている自治会等もあった。

会費なし	19
1,999 円以下	57
2,000～2,999 円	112
3,000～3,999 円	118
4,000～4,999 円	22
5,000～5,999 円	1
6,000～6,999 円	20
7,000 円以上	22
総計	371

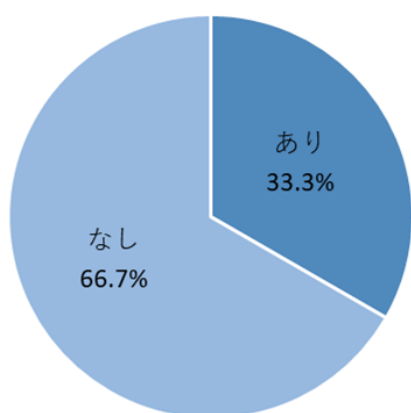


(2)自治会長の選出方法 (n=368) ※不明、無回答除く

前回調査（H27.3実施）と比較しても、大きな差はみられなかった。その他が多かったのは“選挙で候補者がいなければ、推薦”など、各手段を併用する方法や、くじ引きなどの回答であった。

	今回（R2.1実施）	前回（H27.3実施）
持ち回り	100	122
推薦	96	94
選挙（投票）	80	73
その他	92	72
総計	368	361

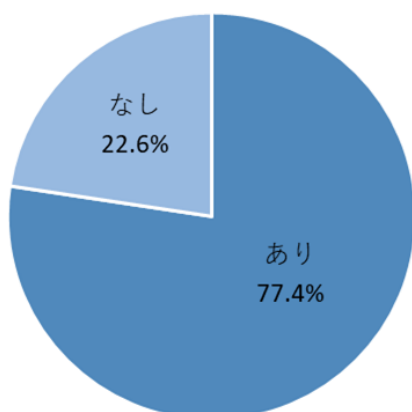
(3)自治会長の再任に関する規定の有無 (n=366) ※不明、無回答除く



1回まで	5
2回まで	16
3回まで	10
3回まで（但し原則となっている）	1
4回まで	4
5回まで	2
6回まで （1期2年で3期まで）	1
原則3回まで	1
連続2回まで	1
2期を務めると辞退できる	1
任期終了回数はない	1
任意で継続可能	1

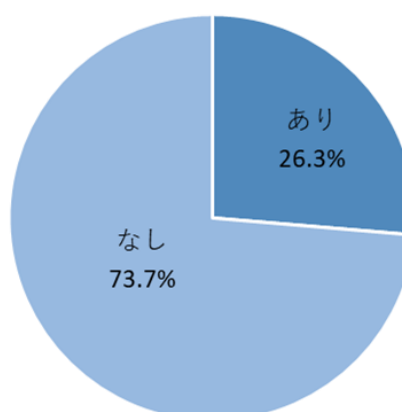
(4)担当役員の有無

(n=367) ※不明、無回答除く



(5)役員への報償費の有無

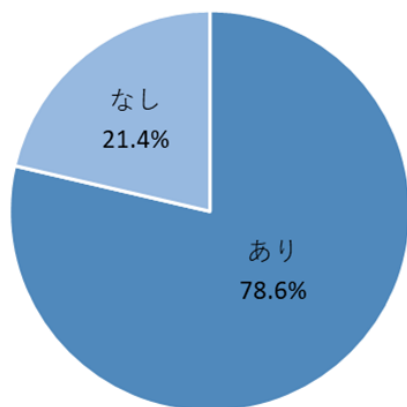
(n=372) ※不明、無回答除く



(6)自治会長の任期に関する規定の有無及び、定年年数・年齢

(n=370) ※不明、無回答除く

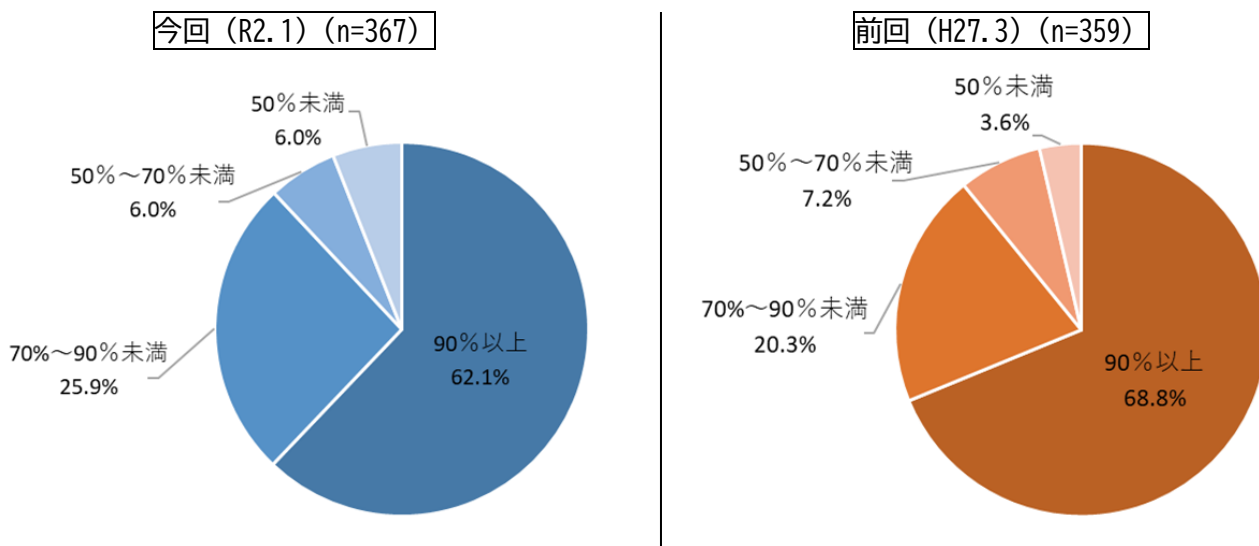
任期を定めている自治会等が8割弱を占めた。そのうち半数が1年任期であった。また、年数だけでなく、定年年齢を定めているところも多くあった。



定年年数・年齢の詳細

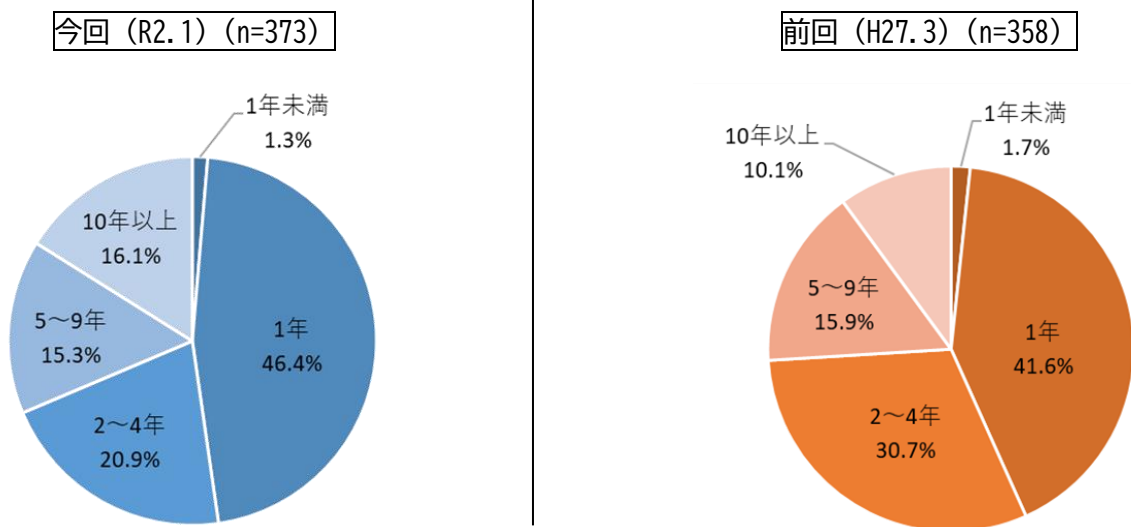
	回答数
1～2年	4
1期2年	1
1期2年・75歳	1
1年	154
1年・70歳	2
1年・75歳	3
1年・77歳	1
1年・80歳	2
1年・65歳	1
1年・75歳 (75歳で辞退することが出来る)	1
2期4年・75歳	1
2年	76
2年 (次年度定年制に取り組む予定)	1
2年 (2年で交代し、2年は相談役として残る)	1
2年・65歳	1
2年・70歳	7
2年・73歳	1
2年・75歳	2
2年・78歳	1
2年・80歳	1
2年・75歳の定年制を設ける予定	1
3年	5
4年	2
4年・75歳	1
6年	1
6年・75歳	1
8年・70歳	1
10年・70歳(役員の任期、定年)	1
70歳	1
75歳	4
原則2年	1
原則3年	1

(7)自治会加入率 ※不明、無回答除く



(8)自治会長経験年数 ※不明、無回答除く

“1年”と回答した自治会が半数近くを占める結果となった。前回と比較しても大きな差は見られなかった。



—自治会等の活動について—

(9)会議の開催状況 ※複数回答

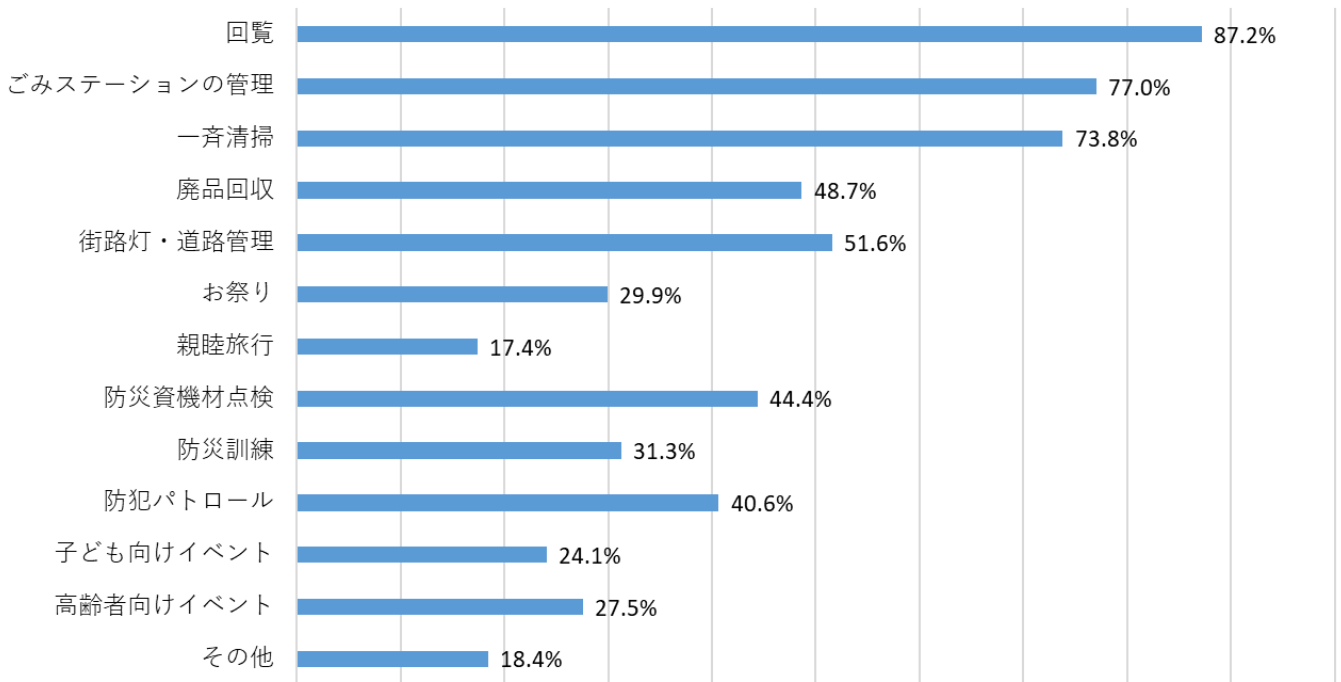
	回答数
総会	343
役員会	303
部会	60
その他	79

その他の回答としては、“隣保長（班長）会”“理事会”や、少人数での“会長・副会長会”“三役会”の回答が多かった。

また、お祭り等行事の実行委員会のほか、マンション自治会では管理組合との連絡会を開催しているところもあった。

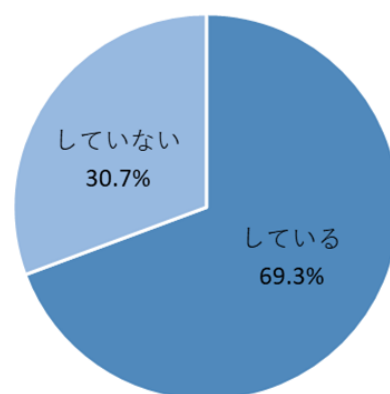
(10)自治会単独で実施している取組み (n=374) ※複数回答

その他の回答が多かったのは“懇親会”“人権研修会”“敬老会”で、次いで、“公園の管理・清掃”“ふれあいサロン”などが続く結果となった。また、運動会やもちつき、お花見会やクリスマス会など季節を感じる交流事業の回答もあった。



(11)自治会員への広報活動 (n=300) ※不明、無回答除く

半数以上の自治会等が広報活動をしていると回答。そのうち、ほとんどが広報活動の方法として、総会議事録の回覧（配布）と回答。また、それに加えて100近くの自治会等は広報紙を発行しているという結果となった。

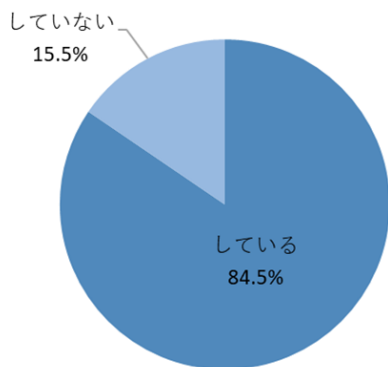


(12)加入促進の取組み ※不明、無回答除く

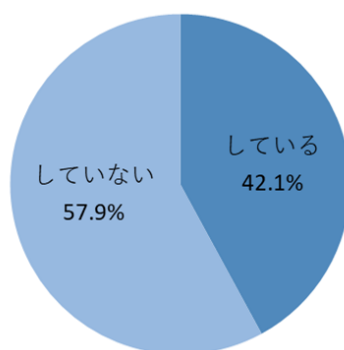
転入世帯に対しては、加入促進の取組みを行っている自治会等が多数を占めているが、未加入世帯に対しては、取組みをしていないと回答した自治会等が約半数を占める結果となった。

取組みの方法については下表を参照。その他では、“ごみ分別カレンダーを加入案内と一緒にもっていく”“自治会独自の加入勧誘セットを渡す”などの回答があった。

転入世帯に対して (n=355)



未加入世帯に対して (n=309)



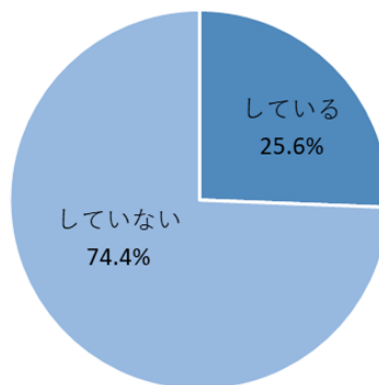
取組みの方法 (複数回答)

取組みの方法	回答数
口頭	198
市チラシ	34
独自チラシ	72
その他	42

(13)他団体との連携 (n=363) ※不明、無回答除く

連携している団体と活動内容の回答の一部

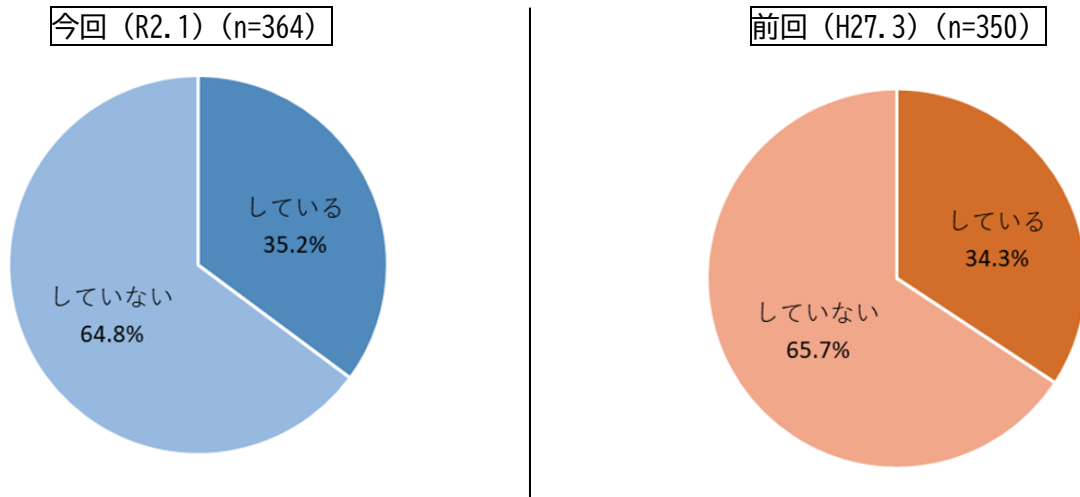
- ・グループホームと高年クラブと親睦会
- ・近隣自治会と合同で一斉清掃、祭事
- ・病院を災害時の避難場所する
- ・病院から、月1回出前講座に来てもらう
- ・学校との交流会を年に1回開催



(14) 民生委員・児童委員との連携 ※不明、無回答除く

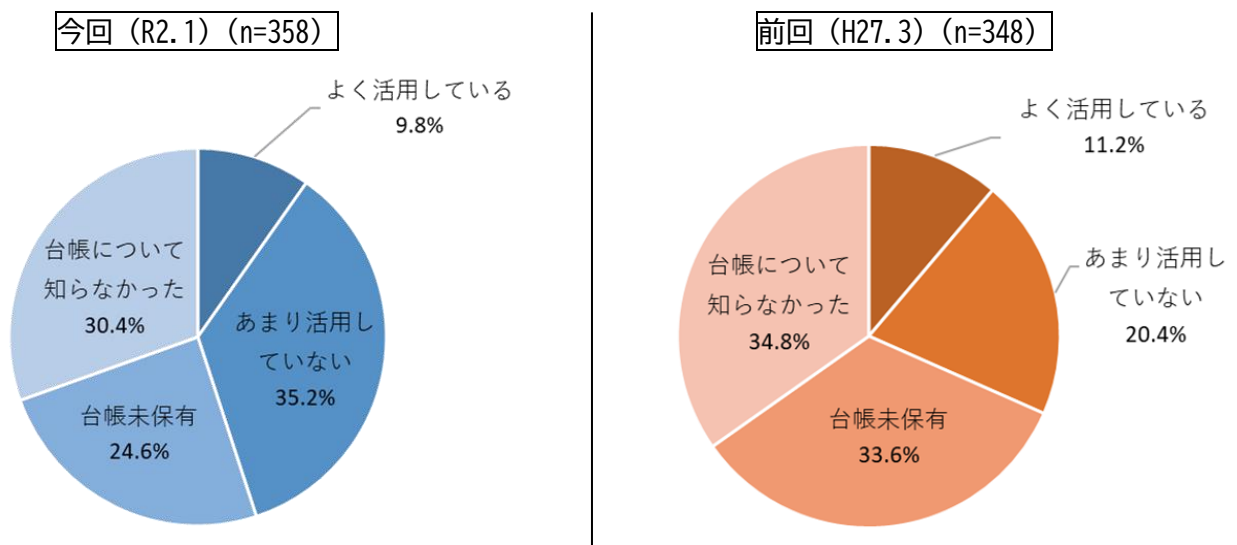
連携している内容としては、自治会等の会議や行事に参加してもらい、情報交換や交流を深めるという回答が多数。また、敬老会の祝い品と一緒に配るなど高齢者見守り活動を行っているという回答もみられた。

その一方で、連携していない理由の多くは、個人情報の取り扱いが難しく連携が進んでいない、連携の必要な状況がないという回答であった。



(15) 避難行動要支援者名簿の活用について ※不明、無回答除く

前回と比較すると、名簿を保有していると回答した自治会は、1割程度増加していることが分かる。しかし、増加したのは“あまり活用していない”の回答であることから、名簿保有はしているものの活用しきれていない自治会が多い現状がみえる結果となった。

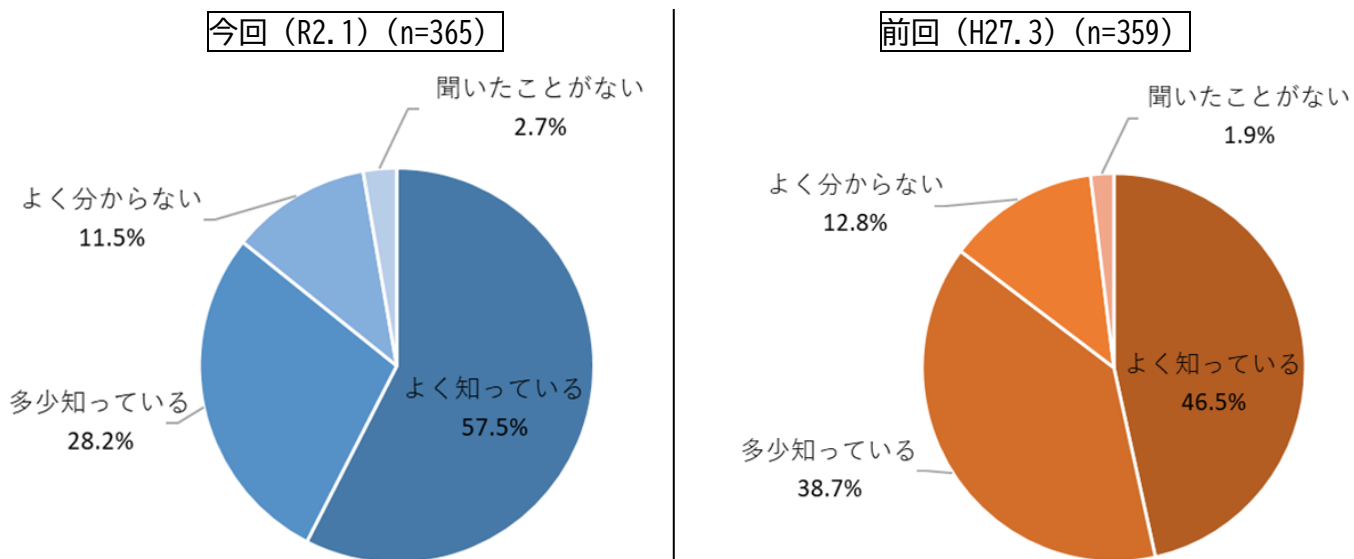


—校区まちづくりとの関わりについて—

(16)明石市の「小学校区単位のまちづくり」について ※不明、無回答除く

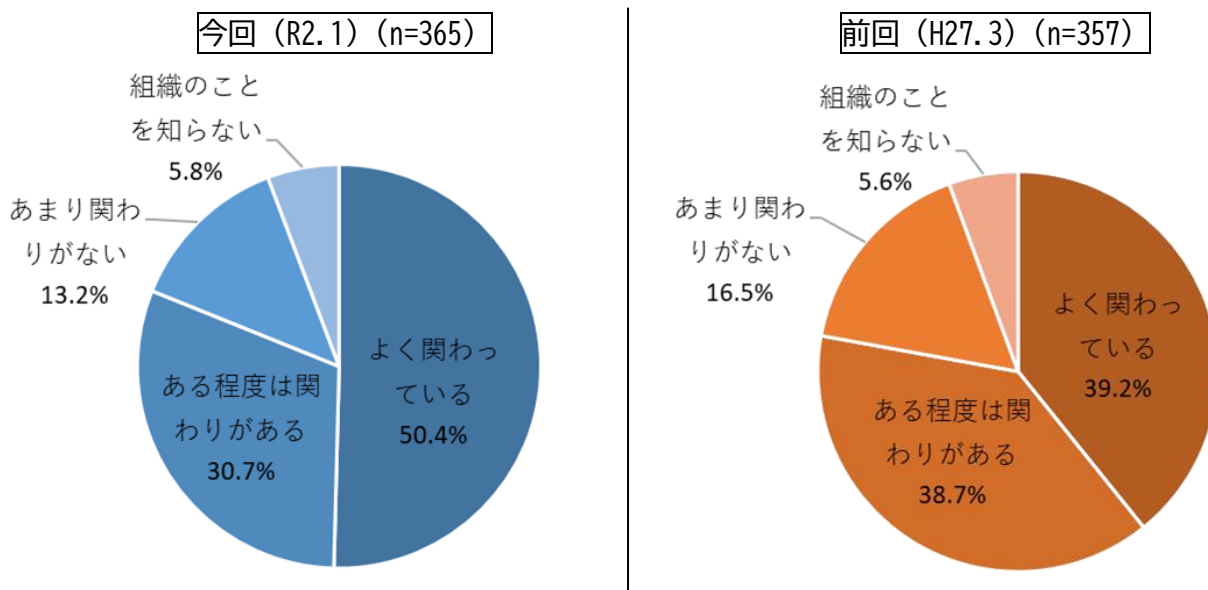
前回調査分と比較すると、“よく知っている”と回答した自治会等は全体割合で見ると1割程度増加していることが分かる。

前回調査の平成27年度からこの5年間で、3校区からスタートしたまちづくり計画書策定が14校区で策定済みとなった。計画書策定を通じて校区まちづくり組織の民主性、透明性、開放性、計画性が高まったことにより認知度や関りが増えたものと考えられる。



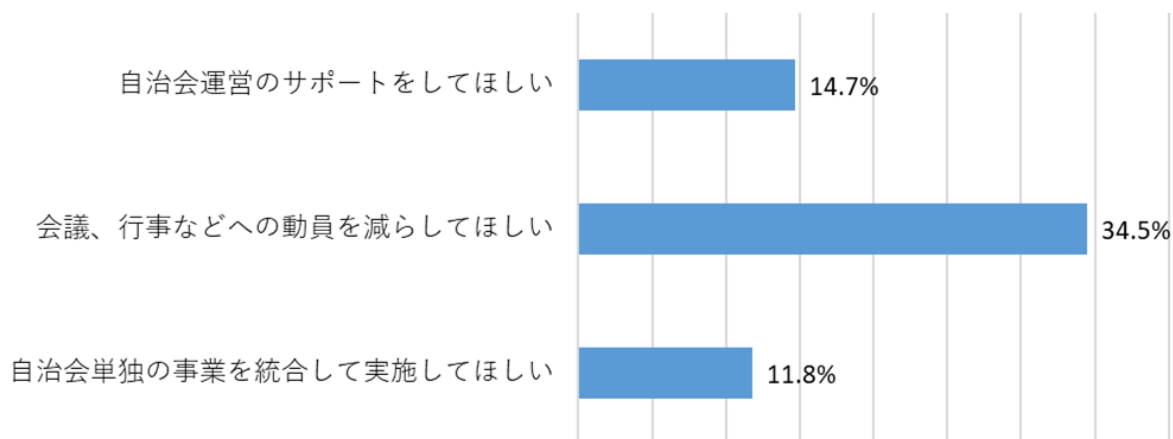
(17)校区まちづくり組織との関わり ※不明、無回答除く

(16)と比例して、“よく関わっている”と回答した自治会等は全体割合で見ると1割程度増加していることが分かる。



(18)校区まちづくり組織へ望むこと (n=374) ※複数回答

自由記述意見は大きく分けて“現状で十分”“高齢化を考えて、若い世代に関わってもらう組織作りが必要”“仕事をしているので、行事や会議への動員を減らしてほしい”“組織をアピールし、認知度をあげてほしい”といった内容であった。



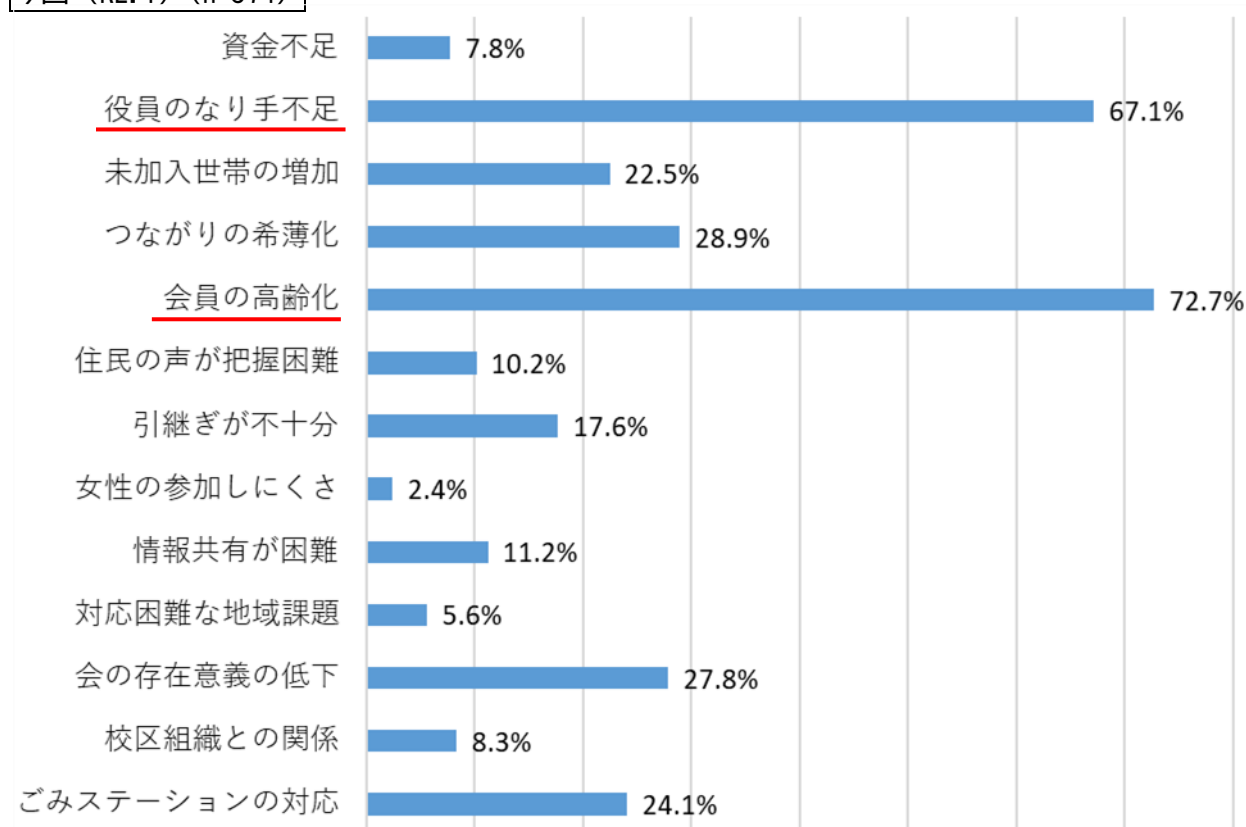
◆ クロス集計【自治会加入世帯数×校区まちづくり組織へ望むこと】

	99世帯以下	100～299世帯	300～599世帯	600～999世帯	1000世帯以上	総計
自治会運営のサポート	26	14	10	2	3	55
会議、行事などへの動員減	57	45	20	6	1	129
自治会単独事業の統合	18	16	7	3		44

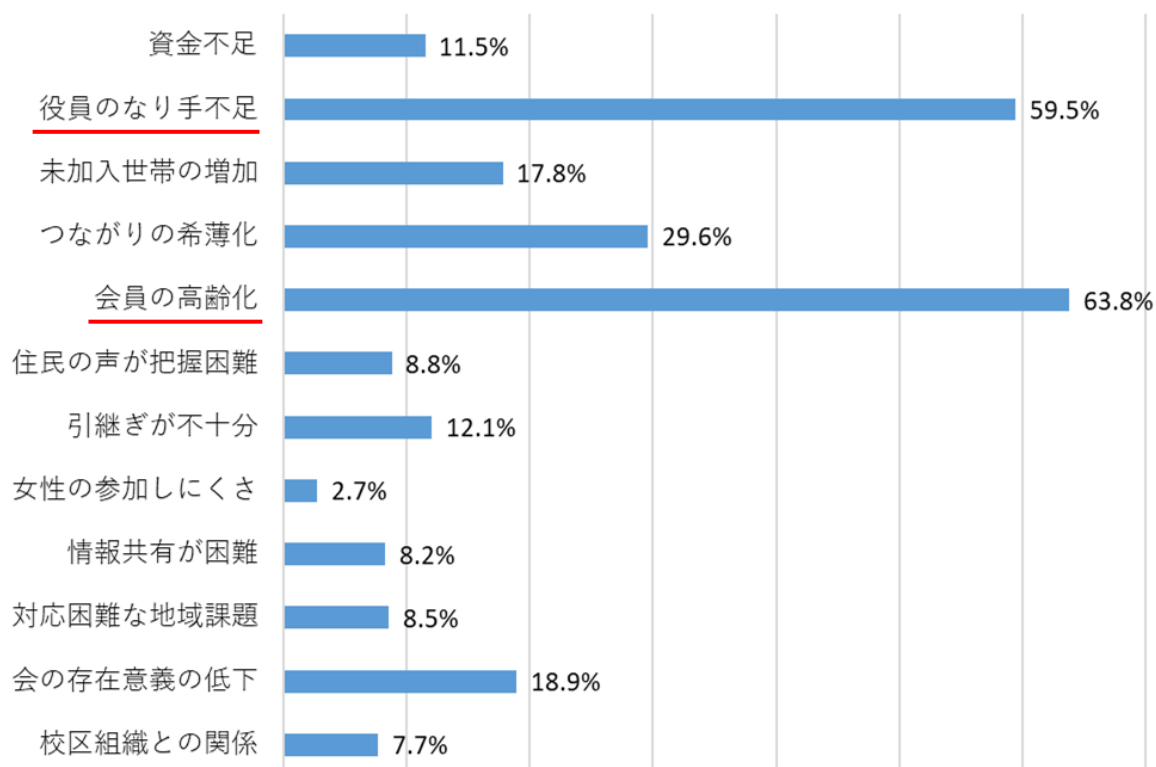
—お困りごと、地域の課題について—

(19)自治会等で特に抱えている問題、課題 ※複数回答

今回 (R2.1) (n=374)



前回 (H27.3) (n=365)



以下、アンケートより意見を抜粋 -----

問題・課題の詳細

資金	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所建設資金の不足
なり手	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長の業務量が多く、なり手が少ない。→やりたくないの、自治会をやめていく。 ・高齢化、共働き世帯が多く、役員のなり手不足。 ・定年延長のため、今までやれていた人ができない。
未加入	<ul style="list-style-type: none"> ・転入世帯への自治会入会の依頼をしても 100%加入する訳でもない。 ・加入しても会費を払うだけでメリットがないと言われ、うまく説明できない。
希薄化	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進むと同時に少子化が進み、住民のつながり希薄化が進行している。 ・マンションの場合、転居なども多く近所のつながりが薄くなりやすく、自治会への理解も得られていないことも多い。 ・各世帯同時のコミュニケーションが少ないように感じます。 ・住民相互のコミュニケーション不足。
高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・会員が高齢化しており、役員の選出に苦労がある。 ・高齢化に伴い、役員になることができなくて退会する世帯が増えている。 ・公園清掃や夏まつりの準備、片付けなど人手不足になっている。 ・連合等の行事への参加が難しくなっている。
引継ぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長が自治会長兼任の為、自治会での活動状況が分からないまま引き継いだ。 ・1年ごとに監事・役員が変わるので、引継ぎがしっかりされてないことがある。
存在意義	<ul style="list-style-type: none"> ・生活様式の多様化や、様々な価値観、加えて IT の進歩がもたらす新たなつながりが、従来の地域自治会のような地縁ベースのものへの参加意欲を希薄にしているように思われる。 ・自治会に加入することのメリットが見られない。 ・会員の無関心 ・公園、緑地の管理、月1回の草抜き、出席率の低下、作業効率の低下が目立つ。 ・自治会の必要性を感じる事が少ない。
ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの不法投棄が多い。 ・ルールを守らない（ネットのかけ方、ごみの種類など）、他地域住民の通りがかりの車からのごみ捨て（早朝） ・最近戸数が増えて、ごみステーションがいっぱいになっている。 ・高齢者が多い為、ごみステーションのカラス対策のためのネットの対応もままならなくなっています。 ・カラス対策用のネットを取り付けたいが、数が多いのと費用の問題等で悩んでいます。

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現役世代は、家庭の用事と行事が重なるため、出席が減る。 ・ 共働き世帯も多く、自治会にもあまり関心がない。 ・ 夜の行事や会議に参加するのは女性では難しい。 ・ 町内会以外の役が多すぎる ・ 空き家対策に問題が多い ・ 男性の参加者が少ない ・ 勤務しながらの役員との両立、会議が多すぎ。その度に仕事を休むことができない。 ・ 個人情報の取り扱いが難しい。 ・ 自治会の集会所がなく、本年は集会（役員）を近くの公園にて行っている。
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

解決のために取り組んでいること等

負担減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不要な用務は出来る限り削減する。 ・ 今年度、新たに組織編成について取り組んで、会長の業務を分担しようとしている。 ・ 役員の負担を平均化し、会長の負担を減らそうとはしている。
情報発信・共有	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出来る限りのニュース・情報を月1回ニュースとして配信し、地域情報を知ってもらう。 ・ 自治会内のイベント（一斉清掃等）の回覧を気軽に軽〜く見てもらえるように、イラストを多用し、お祭りイベントのようにしてみました。 ・ SNSを使ってできるだけ連絡をとり、情報を共有するようにしている。
交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高年クラブ、子ども会とコラボする機会を持っている。 ・ 町内の方々とのコミュニケーションを図りながら、顔を合わせればあいさつをする。 ・ 子どもをつなぎ役として、高齢者と若者の交流を図る行事として「いも掘り大会」を実施。 ・ 一斉清掃の後、親睦会を1時間程度開き、おしゃべり会をしている。(顔見知りになる)
会の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年、自治会役員を持ち回り、投票で決め、自治会の役割（マンション内・地域とのつながり等）を色々な方に経験していただきつながりを強め、自治会のあり方について考えていただく。 ・ 自分が出席できない場合、役員の別の人と調整している。 ・ マンション管理組合との統合を検討中 ・ 総会前にもっと参加してもらえる行事や役員選出方法について意見を出してもらえるようアンケートをとろうと準備している。

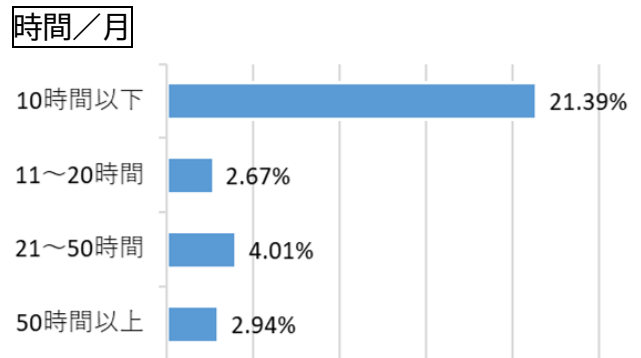
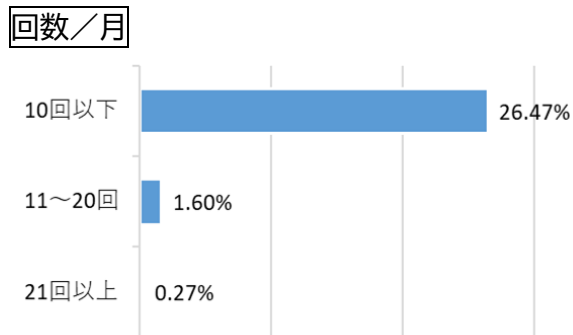
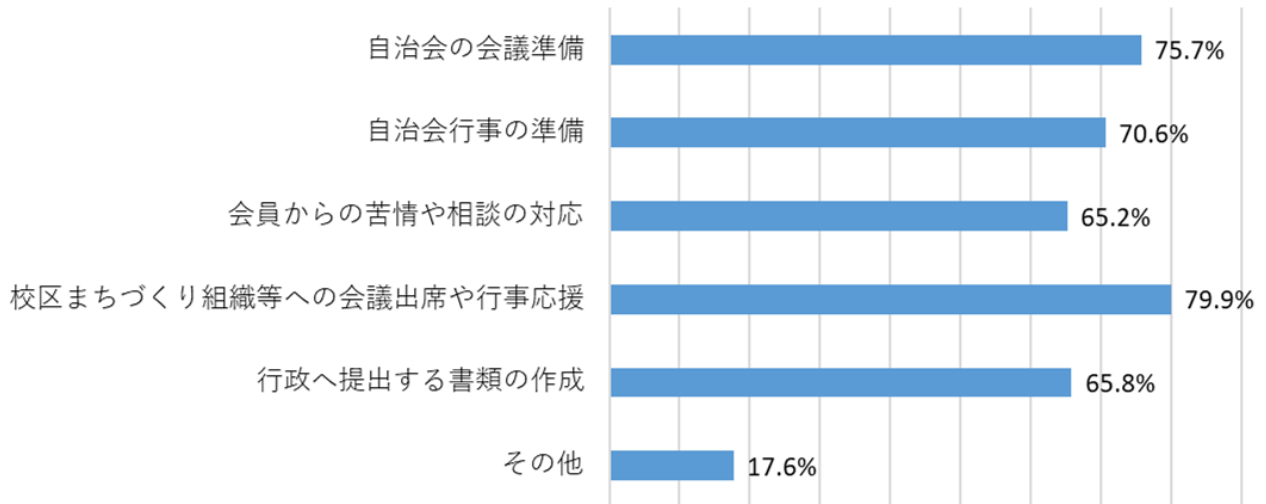
加入促進	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の新規転入者に対し、町内会作成の「町内のしおり」（町内図、役員名簿、年間イベント模様写真集、ごみステーション、分別ごみ収集日等）を利用して町内会入会を勧めている。 ・従来の取り組みでは、自治会活動は先細りするのは明白なので変えられるところから変えていく。脱会した方からの聞き取りなどを行い、改変にいかす取り組みなど。
なり手	<ul style="list-style-type: none"> ・各班で、前期と後期の幹事がいるため相談して来期引き受けてくれそうな人材を回っている。 ・世代交代のチラシを作り、町内会活動に興味のある方、協力をいただける方を募集中。 ・班の統合などで、高齢化のため役員のみなり手が少ない班を減らすよう工夫している。 ・役員（組長）に対してはできるだけ複数任期務めていただけるようお願いしている。
ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ出しの袋の中に新聞紙で覆って中を見えにくくするなど、各自ではしているが被害は全く減らない。 ・ネットを黄色にしてみたが効果がなかった。広くしてみたが、ずさんなネット掛けが多くなり効果薄。 ・未加入の方のごみステーションの利用を知らせる又は、管理会社を通じて徹底させるようにしている。 ・ごみステーションの不法投棄や、一斉清掃の実施結果等、町内広報で回覧や配布をしている。 ・ごみステーションについては、開発の段階で市の規定に関わらず設置するよう依頼している。

—自治会長の役割等について—

(20)自治会長として担う役割と費やす時間 (n=374) ※複数回答

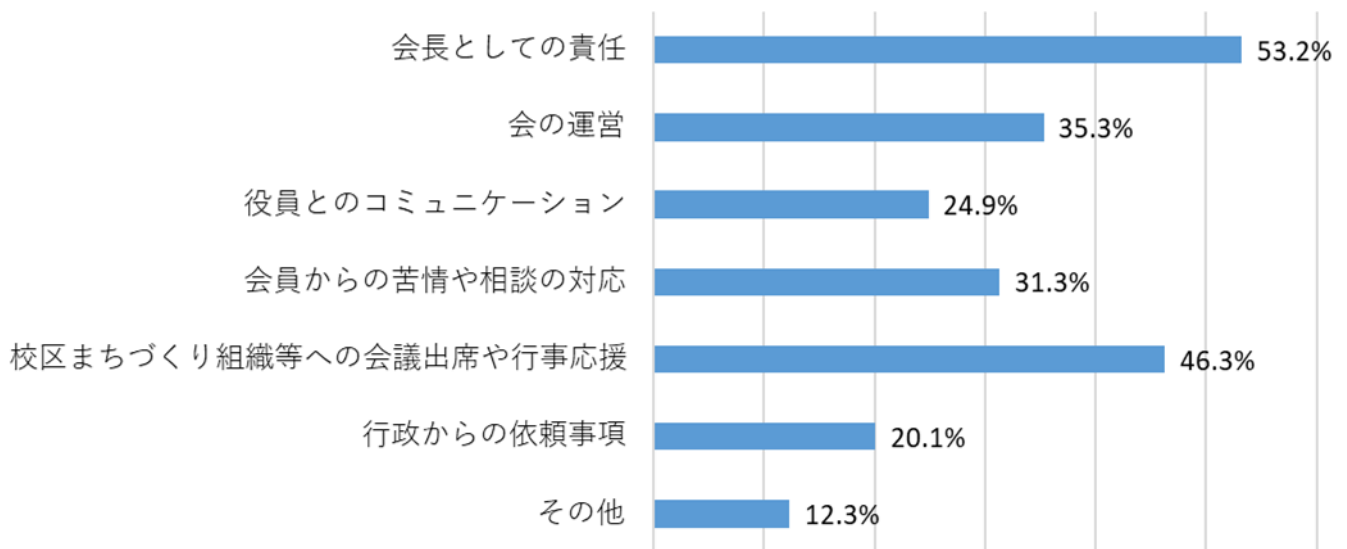
その他の回答としては、“回覧物の仕分け、配布・掲示板の管理”が最も多く、続いて“管理組合との関係業務”や“工事業者等の対応”となった。

また、それらに費やす時間は、“月10回以下”“月10時間以下”という回答が多かった。



(21)自治会長として負担に思うこと (n=374) ※複数回答

“会長としての責任” “校区まちづくり組織への会議出席や行事応援” を負担と回答した自治会等は約5割だった。また、その他では、“仕事との両立” という回答が最も多かった。

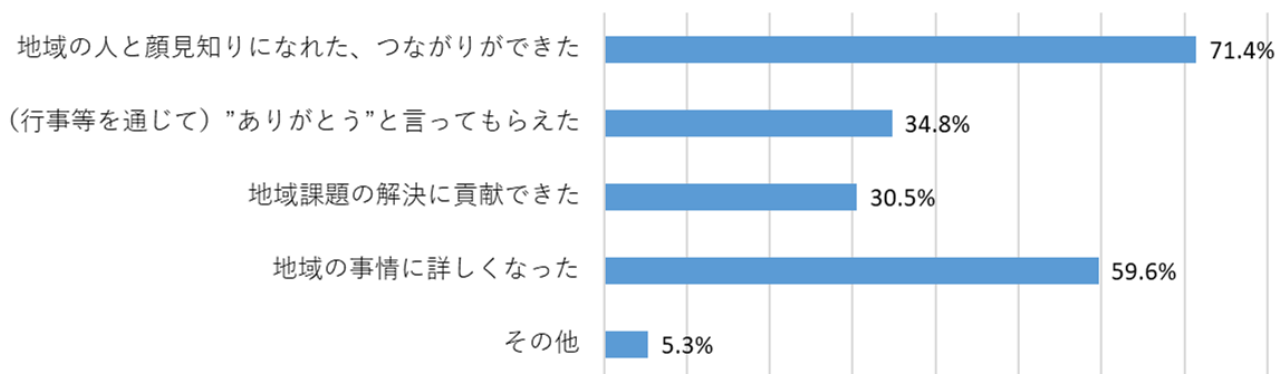


◆ クロス集計【自治会長経験年数×自治会長として負担に思うこと】

	1年未満	1年	2～4年	5～9年	10年以上	総計
会長としての責任	4	96	38	32	29	199
会の運営	1	59	27	22	23	132
役員とのコミュニケーション	2	48	18	13	12	93
会員からの苦情や相談の対応	2	54	27	18	16	117
校区まちづくり組織等への会議出席や行事応援	3	85	36	23	26	173
行政からの依頼事項	2	41	14	7	11	75

(22)自治会長をして良かったと感じること (n=374) ※複数回答

約7割の自治会等が、地域の人と顔見知りになれた・つながりができて良かったと回答した。その他の回答としては、“自分自身の知識が増えた” “地域の役に立てていると感じる（生きがい）” などだった。



◆ クロス集計【自治会長経験年数×自治会長をして良かったと感じること】

	1年未満	1年	2～4年	5～9年	10年以上	総計
地域の人と顔見知りになれた、つながりができた	4	112	61	44	46	267
(行事等を通じて) “ありがとう”と言ってもらえた	1	49	31	22	27	130
地域課題の解決に貢献できた	2	38	29	18	27	114
地域の事情に詳しくなった	5	95	52	32	39	223

● **負担軽減・役割分担**

- ・仕事をしているのでなかなか両立していくことは難しい。役割分担を決めそれぞれ責任をもって活動できるような組織づくりをしたい。
- ・マンション内の方々にお世話になった経験から自治会長に立候補した。今までの活動を大事にしながら若い世代の方々にも自治会に興味や関心を持っていただくよう簡素化したり、皆から意見を聞き、変えるべきことを少しでもと思い1年務めてきた。良い方向になっているものもあれば「昔から〇〇だった」という意見もあり2年任期の会長では難しいことがたくさんある。会長の負担がかなりのもので、長くもできない…のが現状。仕事の分散化を考えてはいるが。

● **引継ぎをしっかりしたい**

- ・当自治会は会長以下役員が一年交替であり、全員が新人の状態で運営される。自治会独自の活動や校区まちづくり協議会について引継ぎはあるが、実際には校区のまちづくり協議会に頼るところも多い。次期役員への引継ぎはしっかり行いたい。

● **マンネリ化からの脱却**

- ・長く続けている間に新鮮さが失われ、マンネリ化してしまっていることを反省。年初の役員会では、それぞれの部で何か独自の活動や期待を話すのを常としているが、決まった年間行事をこなすことで終始しているのが現実。

● **ニーズに合った活動**

- ・これまで続けてきた自治会のイベント(バス旅行、新年会など)の参加者が減少傾向にあり、中止せざるを得なくなってきた。今後自治会員の皆様が喜んで参加してもらえるような企画を検討していきたい。
- ・会員のライフスタイル、ニーズに合った自治会であるべきと思いながら、1年間の任期であり、前年度と変化の少ない運営になってしまった。
- ・自治会参加も任意である以上、魅力がなければ分母は減ります。分母が減れば会員の負担が増え、負のスパイラルに陥ります。(←今ココ) 私は「ゆるく、永く」をモットーにしてみました。今後も可能な限り地域の声をひろっていきたいです。

● **無理のない活動**

- ・日中働きながらだったので、どうしてもスケジュール的に参加できない時があったりしたのが申し訳なかった。皆さん無理のない活動を心がけていらしたので、本当にありがたかった。

- **皆で楽しめる、参加したくなる自治会に**

- ・自治会やまちづくり協議会の活動に、自分でも役に立てることがあるかもしれないと思ってもらえたらいいと思う。自治会運営も立派なボランティアであり、強制では誰もしたくない。まち協からの動員がかかるのが負担に感じるのもそこです。自主的に協力・参加したくなる仕組みにしたいです。楽しそうに活動している様子をもっと広報して、組織がどうのこうのなどむつかしいことは抜きにして、みんなで楽しめる、参加したくなるようになってほしいなと思います。
- ・町内住民全員が、まんべんなく活動に参加する雰囲気をつくりたい。

- **自治会のPRをもっとしたかった**

- ・自治会の取り組みを知らない会員が多くいることが分かりました。もっと年間を通して自治会に参加してもらえる行事を考えるなどすれば良かったと思っています。

- **ハード面の充実**

- ・集会所があれば高齢者をあつめて色々活動したい。
- ・防犯カメラの設置（公園及び道路）
- ・防災関連について十分な活動が少なかったと思う。

- **その他**

- ・高齢化と若い家族の生活スタイルに合わせ、組織の見直し、会則の改正を繰り返し、シンプルでベターな自治会運営となった。（会議は1時間、大きな行事は高年クラブと実行委員会組織を立ち上げ全員協力）
- ・校区内の集まりは、時間も手間も必要だが、人の交流や情報交換の場として有意義な一面もあると思う。
- ・地域活動に協力的な人が多い事に感心した。